

授業名	データサイエンスⅥ アドバンスクラス	学期	2025年度 秋学期
担当者			
テーマ	「価値創造型ミッション形式」にて日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)の課題解決から価値創造をめざす		
授業の目的	データ分析から価値創造ができる社会の課題解決力の習得を目指す。 データサイエンスⅥ終了時には様々なデータからの統計分析や論理的な思考スキルを身に付け、課題の発見や解決、社会への価値創造につながる仮説を構築する力を習得する。 データサイエンスⅥの目的：「価値創造型ミッション形式」にて社会の課題解決力の習得を目指す。日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)のデータやオープンデータなど複数のデータソースを活用して、多面的な課題抽出を行い、課題の発見と解決策の構築について、演習を通じて学び、提言につながる学修をおこなう。Tableauの演習ではダッシュボードを有効的に活用する方法を学ぶ他、聴き手にスピーディに正しく情報を伝達するために必要な考え方やスキルを習得する。		
授業の到達目標・DPとの関連性	「データサイエンス」は主観的な判断ではなく、データをもとに意思決定を行うデータドリブンな思考を高めて、社会の課題を解決し、価値を創造していく人材となることを意識して 1. 大学で自ら進んで学ぶ態勢をつくることできる（自分事として問いを立てる力【自灯明】） 2. データサイエンスやAIへの興味関心をもって学び、倫理含めて正しく理解を深めることできる（物事の本質を見極める力【慈悲】） 3. 情報リテラシーと統計の基礎を学びながら、論理的思考力を高め、さらにはExcelやTableauを活用し、データの整理・分析をすることで課題解決につながる課題抽出を行うことできる（根拠にもとづいて思考する力【中道】） 4. 新しいことにも意欲的に取り組み、困難なことにも努力し、新たな価値創造に挑戦することできる（新たな価値を創造する力【共生】） 5. 他者の考えを傾聴した上で、自らの考えを論理的にまとめて発表することできると同時に、他者と協働して活動するとともに、リーダーシップを発揮して、他者との共生を目指すことできる（他者と対話し、協働する力【共生】）		
DP参照ページ	https://www.tais.ac.jp/faculty/tais_policy/		
授業形態	講義、個人ワーク、グループワーク ※教員・チューター・SAが、講義・ワークをサポートする。		
テキスト	特に指定なし		
参考文献	授業で扱う内容よりさらに学びを深めたい学生には、以下の資料を勧める。 松島七衣著「Tableauによる最強・最速のデータ可視化テクニック ～データ加工からダッシュボード作成まで」、SHOEISHA、発行年度2019年、3400円＋税（9784798180823） 松島七衣著「Tableauによる最適なダッシュボードの作成と最速のデータ分析テクニック」、SHOEISHA、発行年度2020年、3400円＋税（4798184373） 高橋威知郎著「問題解決のためのデータ分析基礎講座」、ビジネス教育出版社、発行年度2020年、2000円＋税（4828307990）		
評価方法	・毎回ふり返り（リフレクション）（20%） ・小テスト 第2回（20%） ・授業中に取り組む個人ワークや小課題 第3回・4回・7回（6%） ・プレゼン評価（54%） 内訳①個人評価：第2回 個人で分析したプレゼン用ワークブック（10%） 第3回～第5回のグループ活動報告書（4%） 第7回 グループ貢献度学生相互評価（10%） 内訳②グループ評価：第6回 グループ相互評価（10%）/ プレゼン・発表資料評価（20%）		
前提科目	データサイエンスⅤ		

授業名	データサイエンスⅥ アドバンスクラス	学期	2025年度 秋学期
授業計画	第1回 【授 業】 オリエンテーション 授業の目的・目標、概要、授業の進め方、評価などを理解する 社会の課題解決Ⅱ「価値創造型ミッション形式」 ・連携先からのミッション提示と提供された複数の「データ」について ・価値創造型ミッションの全体の進め方 連携先へのプレゼン準備① グループワーク&個人 ・発表資料作成における役割分担提出 ・グループワークでの行動目標設定（個人） 【事前学修】 履修要綱やガイダンスで配布した資料を読み直し、授業科目の全体像を理解する（2時間） 【事後学修】 第1回の授業内容の復習 / 提示されたデータをすべて確認し、内容を理解する(2時間)		
	第2回 【授 業】 小テスト（DSⅢ～Ⅴの学修内容から出題） 社会の課題解決Ⅱ「価値創造型ミッション形式」 ・分析に必要な知識とテクニック応用① 連携先へのプレゼン準備② 個人ワーク ・個別にTableauでビュー作成をして、課題抽出を多面的に行う 【事前学修】 プレゼンで使うデータの可視化を探索的に行い、どのような可視化が可能か確認する（2時間） 【事後学修】 個人でプレゼン用ワークブックを作成し、期日までにtwbxファイルを提出（3時間）		
	第3回 【授 業】 Tableau実践①「ビジュアライズのブラッシュアップ①」 ・ダッシュボードの書式設定 ・不要な要素の削除 ・ツールヒントのブラッシュアップ ・色の効果的な使い方 社会の課題解決Ⅱ「価値創造型ミッション形式」 ・分析に必要な知識とテクニック応用② 連携先へのプレゼン準備③ 個人&グループワーク ・個別に分析可視化したものをグループ内で共有し、グループとして取り組む課題/テーマの検討 ・スケジュール確認 / 追加データの検討/課題解決のストーリー検討 【事前学修】 個人で行った課題抽出をグループ内で共有できるように準備（2時間） 【事後学修】 第3回の授業内容の復習 / プレゼン大会にむけての準備（発表資料作成）（3時間）		
	第4回 【授 業】 Tableau実践②「ビジュアライズのブラッシュアップ②」 ・効果的なダッシュボードの作成 社会の課題解決Ⅱ「価値創造型ミッション形式」 ・分析に必要な知識とテクニック応用③ 連携先へのプレゼン準備④ 個人&グループワーク ・グループでのプレゼン準備（議論と資料作成） ・教員/チューター/SAによるグループワーク巡回による進捗状況確認とアドバイス（1回目） ・プレゼンテーマ確定 【事前学修】 プレゼン大会にむけての準備（発表資料作成）（2時間） 【事後学修】 第4回の授業内容の復習 / プレゼン大会にむけての準備（発表資料作成）（3時間）		

授業名	データサイエンスⅥ アドバンスクラス	学期	2025年度 秋学期
	第5回 【授 業】 社会の課題解決Ⅱ「価値創造型ミッション形式」 ・分析に必要な知識とテクニック応用④ 連携先へのプレゼン準備⑤ 個人&グループワーク ・プレゼン発表当日の役割分担提出 ・プレゼン骨子完成 ・プレゼン内容の最終仕上げ（課題解決案まで策定） ・教員/チューター/SAによるグループワーク巡回による進捗状況確認とアドバイス （2回目） ・プレゼンリハーサル 【事前学修】 プレゼン大会にむけての準備（発表資料作成）（2時間） 【事後学修】 プレゼン大会にむけての準備を行い、グループごとにプレゼン骨子と途中プレゼン資料を提出（3時間）		
	第6回 【授 業】 プレゼン大会（予選） 社会の課題解決Ⅱ「価値創造型ミッション形式」 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)へのプレゼン ・グループごとのプレゼンと相互評価 【事前学修】 プレゼン大会にむけての準備（リハーサル）（2時間） 【事後学修】 発表後にプレゼン・発表資料の見直しを行った上でグループごとに最終提出（3時間）		
	第7回 【授 業】 プレゼン大会（本戦） 社会の課題解決Ⅱ「価値創造型ミッション形式」 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)へのプレゼン ・代表グループによるプレゼンと質疑応答 ・連携先からの講評 / 教員からの総括 ・グループ貢献度学生相互評価（自己評価含む） データサイエンスⅥのふり取りとまとめ 【事前学修】 データサイエンスⅥの復習（2時間） 【事後学修】 データサイエンスⅣからⅥのふり取り（2時間）		
	統括的な留意事項	・小テストの受験と第2回・6回の課題（プレゼン用ワークブック）を提出しなければ単位は取得できない。 ・第6回の予選欠席の学生はプレゼン相互評価分は0点（最大10点）となる。 ・第7回の本選欠席の学生はグループ貢献相互評価分は0点（最大10点）となる。 ・毎回、授業終了時に、授業のふり取り（リフレクション）を提出すること。 ・授業開始時刻の開始20分までに出席登録を完了していない学生は欠席と見なす。	